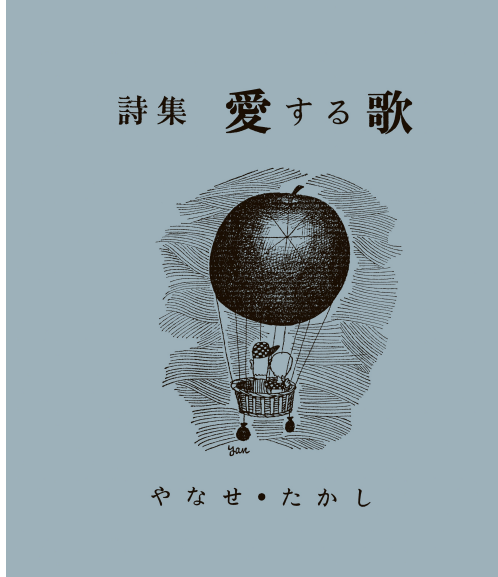


初版本を復刻！やなせたかし氏とサンリオ初の詩集本
『詩集 愛する歌』2026年4月発売決定



辻 信太郎



© やなせたかし



やなせたかし氏

写真提供：やなせスタジオ

株式会社サンリオ(本社:東京都品川区、社長：辻 朋邦、以下サンリオ)は、長年子どもたちに愛され続けている「アンパンマン」の生みの親・やなせたかし氏とサンリオの創業者であり名誉会長である辻 信太郎の出会いにより1966年に山梨シルクセンター(現サンリオ)から刊行された『詩集 愛する歌』の初版本を復刻いたします。サンリオから出版した最初の本で、やなせたかし氏の詩集としてもはじめて市販されたものです。

【背景】

「みんななかよく」を企業理念に掲げ1960年にサンリオを起業した辻 信太郎が、やなせたかし氏との出会いをきっかけに出版事業を開始し、初めて出した本が『詩集 愛する歌』です。続編も刊行し、詩集としては異例の10万部を売り上げる大ヒットとなり、やなせ氏の初期の代表作のひとつとなりました。その後、サンリオの出版事業は、やなせ氏が、「ぼくは『詩とメルヘン』を編集するためにこの世に生まれた」と言うほど全身全霊を傾けた文芸誌『詩とメルヘン』(責任編集やなせたかし/1973年から30年間刊行)へと続きます。戦後80年の節目の2025年に、やなせ氏の妻が主人公のモデルとなった連続テレビ小説「あんぱん」で『詩集 愛する歌』が登場したのをきっかけに、今新たに注目を集め、問い合わせを多くいただいたことから今回の復刻となりました。「てのひらを太陽に」からはじまるあたたかみのある詩は、「子供の歌と大人の歌、あるいはラブソングがいっしょになっています。」とやなせ氏のあとがきにも書かれているように、童謡のようなメルヘンチックな世界観から、人生を深く見つめる普遍的なテーマまで多岐にわたり全46篇が納められています。

【復刻にあたり辻 信太郎よりコメント】

今回の『詩集 愛する歌』復刻版の話を天国のやなせたかしさんに「無名だった僕たちが手探りで出版したこの詩集がなんと60年ぶりに復刻することになったよ。あの頃の僕たちには信じられない話だね。人生って面白いね」って伝えたいです。

私は今もやなせたかさんのユーモア溢れる正直で独特な感性が大好きです。みなさんも是非全編読んで、くすっと笑ったりホロッと泣いたりしてください。

【書籍情報】

タイトル：詩集 愛する歌

著者：やなせたかし

本体価格：2,000 円(税別)

発売日：2026 年 4 月 1 日（※当時の初版本は 1966 年 9 月刊行）

判型：A5 変形(天地 174×左右 148) 上製本

ISBN コード：978-4-387-26013-4

発行元：株式会社サンリオ

取り扱い予定：

- ・サンリオオンラインショップ本店
- ・山梨いちごの王さまミュージアム サンリオ創業者 辻信太郎記念館(山梨県甲斐市に 2026 年 4 月開館予定)
- ・香美市立やなせたかし記念館
- ・やなせたかしの店 アンパンマンショップ(四谷店、ふらの店)
- ・紀伊國屋書店(ウェブストア、店頭展開は一部店舗、全国の紀伊國屋書店で取り寄せ可能)
- ・全国の書店にて、客注品としてお取り寄せ可能

※品切れの場合もございます。また、「買切」品で返品不可の書籍となりますので、その点ご注意の上、ご注文ください。

【著者プロフィール】

やなせたかし (1919-2013)

漫画家、詩人、デザイナー、絵本作家など多数の顔を持つマルチクリエイター。子どものころから漫画や小説、イラストなどに心惹かれ、自身もその道を目指す。多彩に活躍しながらも代表作が生まれなかったことに悩んでいたが、54 歳で発表した絵本『あんぱんまん』が人気となり、その後アニメ化もされ自身の代表作となった。生涯現役で、94 歳で亡くなるまで作品を生みだし続けた。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社サンリオ コーポレートブランディング部 広報課

MAIL: sanriopr@sanrio.co.jp